



第4号

平成21年(2009年)2月25日(水)発行
 発行元:みやげじま『風の家』
 (三宅島災害・東京ボランティア支援センター)
 発行責任者:坂上 幸一郎
 東京都三宅島三宅村阿古532-1
 (社団法人 日本建築学会三宅島研修所後付)
 電話:04994-5-1470 FAX:04994-5-1471
 E-mail:miyake_kaze@dolphin.ocn.ne.jp

みやげじま『風の家』でくりかえされる日常の中で、人と人との間に灯される「やさしさ」を切り取っています。
 多くの人が“やさしく なかよく”つながっていることの大切さ。
 ただそれだけを見つめて・・・

(^o^) (みのりの「春」・・・?)



「だいぶ日がのびたねえ～」日一日と「春」の足音がチラホラ。三宅島では「草花」や「風」「おてんとさま」「お月さま」・・・たくさんの自然から「春」が近づいているのを感じることができます。

ですが！なんと言っても畑でつくられる野菜たちの見事さに本当に驚かされます。

「風の家」にも連日のように「うちの畑でできたんだけど、良かったらみんなで食べてよ！」とおいしそうなお野菜や、この時期の海の幸をいただきます。

「大根」「ショウゴイン大根」「キヌサヤ」「アシタバ」「島みかん」「ミズナ」「青梗菜」「メジナ」など。こんな時、「島の恵」を大切にしている「島の人々」の姿を、改めて力強く素晴らしいと感じます。時代は流れても、変わることなく営まれている「暮らし」を見たような気がします。もちろん、おいしくお昼ご飯に「いただきます！！」

(^J) アカコッコ館にお出かけです

“アーカイブス展”が開かれていると聞き、みんなで出かけました。春のような暖かい陽気の中、冬に上着はひとまずおいといてアカコッコ館までドライブです～

レンジャーの篠木さんから、たのしくお話を聞くことができました(^o^)



(^~) 魔法の『い・ろ・り』!?



『風の家』にはとってもステキな「囲炉裏(いろり)」があります。夏の暑い時期を除いて、毎日現役で灯っています。

暖を取るだけではなく、おなべが掛けられたり、お餅を焼いたり大活躍！

それだけではありません。不思議なもので、自然と人が集まる「力」を持っています。囲炉裏を囲むとなんだか暖かい気持ちになり「やさしい」会話が生まれてきます。不思議ですねえ??



!(^)! 今年もお祝いしていただきました

2月6日（金曜日）

阿古青年団の皆さんによる『初午祭』が行われました。
当日の天候は晴れ！まさしく初午祭日和!!

『風の家』では、毎年、獅子に舞っていただいています。
“ドンドン “ドンドン””と太鼓の音が近づいてくると、
ワクワクが抑えきれず待ちかねていたみんなから

「ほら来たよ！」と声が上がりました。
『風の家』の戸をすべて開け放って、
みんな並んでお迎えしました。



いよいよ獅子が登場すると、とたんに厳肅な雰囲気
に包まれました。

太鼓の音と共に、獅子の舞が始まりました。とても
勇壮で迫力があり、みんな固唾を呑んで見つめて
いました。すると、「おかめとひよっこ」があらわれて、
元気な踊りが始まりました。それまで
外にいた若い衆が思い思いのお面を被り、島節に
あわせて「アハーイ ハイ！太鼓の音と歌に誘
われて、『風の家』のみんなも手拍子や踊りも飛
び出して、とてもうれしい時間でした。

最後は、全員が獅子に頭を「パクリッ！」
一年、元気で過せますようにとお祈りしながら…



阿古青年団の皆さん、勇壮な獅子舞と共に元気をもらうことができました。

本当にありがとうございました!(^)

(^o^） “ひと”って やさしいものですね

『風の家』に集まるひとは、みんな仲良しです。
でも、あれこれ悩みや考え事はみんなが持っています。
そんな時“ひと”がそばにいて、気持ちを
向けてくれる。そんな場面が、周りにいるみんな
にも、やさしく響いていきます。『風の家』は、



そんな
『やさし
い』風に
包まれて
います。

(^_^)/ 「風の家」ご一緒しませんか！！

『風の家』では、日頃の活動の中で、「ボランティア
」としてご一緒していただける方を、引き続きお
待ちしています。

『風の家』での約束事は「やさしく」そして「仲
良く」です。



目には決して見えないものですが、きっと人と人
との良い出会いは、「暮らし」の中でとても大切なも
のだから…

ぜひ、お気軽においでください。

(^_^)/ ご支援いただきありがとうございます

みやけじま『風の家』は月曜から土曜までの、朝 10 時から夕方 3 時まで開設しています。

（日曜・祝日・年末年始はお休みです）

お近くにお越しの際は、どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。